

野生生物と農業～道央でのタンチョウとの共生について～

【開催目的】

タンチョウと農業従事者とのよりよい共生関係の構築をめざし、同じ農業従事者の目線から野生生物との共生について基調講演をいただき、タンチョウとの共生に向けた農業従事者の理解を得る

【開催概要】

日 時:平成28年11月21日 15:30～17:15

場 所:長沼町総合保険福祉センターリふれ 2F研修室

主 催:環境省北海道地方環境事務所

共 催:タンチョウも住めるまちづくり検討協議会

参加者:67名(農業従事者、農政担当者、長沼町民、報道 など)

内 容:

北海道地方環境事務所から、タンチョウの生態や道内の生息分布と分散計画について説明。「佐渡トキの田んぼを守る会」の齋藤会長から、トキの概要や朱鷺と共生する農業に取り組むまでの経緯や難しさ、意義についてご講演いただきました。齋藤会長は、佐渡でトキとの共生が進んだ一つの要因として、行政・農業・生産者が三位一体となって取り組んだことを挙げられました。



佐渡トキの田んぼを守る会
齋藤会長



閉会挨拶 長沼町 戸川町長



セミナー会場の様子

【会場からの質問】

- ・トキの取り組みに参加していない農家のメリット、デメリット
- ・「エサ」をやってまで鳥に来てもらうこと自体、人の営みに問題があるのではないか
- ・認証米「朱鷺と暮らす郷」の購買層
- ・長沼町だけでなく、千歳市や恵庭市も積極的に参加する 将来像
- ・キツネやアライグマ、イタチなどタンチョウに影響を与える生きものへの対応
- ・佐渡で実施している生きもの調査に協力する人数と生きもの数や種数の目標値
- ・タンチョウとの共生に取り組む長沼町、長沼の農業にヒント